様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2023 年　12 月　27 日

１．職名・氏名　准教授　熊谷あゆ美

２．学位　博士　、専門分野　保健学　、授与機関　金沢大学　、授与年　2019 年 3 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

●学部
・成人・老年看護学概論（1 単位）2 年次前期
・急性看護学（2 単位）2 年次後期
・セルフケア支援論（2 単位）2 年次後期
・成人急性看護学演習（1 単位）3 年次前期
・成人急性看護学実習（2 単位）3 年次前期
・成人急性卒業研究（3 単位）4 年次通年
●看護福祉学研究科（修士課程）
・看護研究方法論（2 単位）1 年次前期
・成人看護学特論（4 単位）1 年次前期
●健康生活科学研究科（博士課程）
・看護実践開発演習（4 単位）1 年次前期・後期

②内容・ねらい

●学部
・成人・老年看護学概論：成人期・老年期にある人の特徴や課題、必要な看護を学修する。
・急性看護学：急性期にある患者の看護について、基礎的知識を学修する。
・セルフケア支援論：慢性疾患を有する患者の看護について、基礎的知識を学修する。
・成人急性看護学演習：急性期にある患者に必要な看護を、根拠に基づいて学修する。
・成人急性看護学実習：急性期にある患者に必要な看護を、実践を通して学修する。
・成人急性卒業研究：急性期にある患者の研究課題を明確にし、研究方法を学修したうえで研究を行い、論文にまとめる
●看護福祉学研究科（修士課程）
・看護研究方法論：看護学領域における研究課題に沿った研究方法等一連の研究プロセスを、学修する。
・成人看護学特論：成人期の健康課題の理解を深め、実践に有効な概念・理論について、学修する。
●健康生活科学研究科（博士課程）
・看護実践開発演習：エビデンスに基づく看護実践の開発研究プロセスについて探求する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

●学部の成人・老年看護学概論、セルフケア支援論、急性看護学、成人急性看護学演習、成人急性看護学実習、成人急性看護学卒業研究を担当した。
・講義、演習、実習において、ZOOM やグーグルクラスルームを活用し、オンライン授業やオンデマンド授業を行った。また、DVD の活用や自身の経験をもとにした看護の実際を講義、演習、実習に組み込んだ。
・講義や演習において、アクティブラーニングや反転授業を取り入れた。

・演習おいて、救命処置の理解を深めるために、シミュレーターや AED を使用した 1 次救命処置・2 次救命処置（気管挿管）を行った。
・実習において、時間内に学生の学修の理解度に合わせて個別指導を行った。また、受け持ち患者の手術見学時に手術室へ行き、麻酔・手術侵襲の実際をレクシャーした。
・実習の学内演習において、術直後の観察の理解を深めるために、ハイブリッドシミレータ（SCENARIO）を使用した。また、器械出し看護の理解を深めるために、実際の手術で使用する器械と材料を用いて、器械出しのシミュレーションを行った。また、手術室環境の理解を深めるために、手術環境を撮影した VR 教材を制作して活用した。
・卒業研究において、担当した 2 名の学生に対し、定期的に学生と連絡を取り合った。グーグルクラスルームを活用し、対面や遠隔（ZOOM やグーグルミート）で、論文執筆や卒業研究発表会のスライド作成を指導した。
●研究科（博士課程）の看護実践開発演習を担当した。
・ゼミに参加し、開発研究プロセスの探求が促進されるように指導した。

(2)その他の教育活動

内容
●学年副担任として、担当する学生の面談を、土日祝日を問わず希望時に行った。また、国家試験対策模試受験に関する調整・実施、国家試験受験旅程に関する調整・周知を業者と連絡を取りながら行った。

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

【　本】

③その他論文（査読なし）

【　本】

④学会発表等
●熊谷あゆ美，須釜淳子．腹臥位における腸骨部の皮膚に加わる外力と皮膚軟部組織変形の検討．第 11 回看護理工学会，2023.6.（査読あり）
●Yumie Ohata，Yuka Takamatsu，Yasuhiro Myoujou，Yutaka Hayashi，Kazuyosi Yamaguchi，Yukiko Hama，Ayumi Kumagai，Norihide Fukushima．Awareness and attitude the emergency life-saving technicians toward organ donation in a certain prefecture in Japan．The 17th Congress of the International Society for Organ Donation and Procurement，2023.10.（査読あり）

【2 件】

⑤その他の公表実績

【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
●熊谷あゆ美（研究代表者），若手研究 2021 年～2023 年 4,400,000 円 「応力解析による腹臥位手術の褥瘡予防に有効なマットレスの硬さと学習モデルの開発」 ●熊谷あゆ美（研究分担者），基盤研究 C　2023 年～2027 年 「マイクロクライメットを考慮した褥瘡予防用体圧分散マットレス選択基準の開発」
(3)特許等取得
(4)学会活動等
●日本手術看護学会、看護実践学会、日本褥瘡学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本感染環境学会、看護理工学会、日本看護科学会、日本創傷治癒学会、日本手術医学会　会員 ●看護実践学会査読委員 ●看護理工学会査読委員（2 編査読） ●日本褥瘡学会評議員（1 編査読） ●日本創傷・オストミー・失禁管理学会査読委員（1 編査読） ●日本褥瘡学会褥瘡ガイドライン体圧分散寝具担当

５．地域・社会貢献活動

●福井県立大学臨床看護研究指導 福井赤十字病院手術室の看護師に質的研究デザインによる研究指導を行った。定期的に対面、ZOOM やメールで、研究倫理、研究計画、データの収集、分析、結果、考察、結論までの一連の研究過程を指導し、論文を執筆することができた。

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
●委員会・チーム活動 ・学年担任（2022 年 4 月～現在に至る） ・修士論文委員（2022 年 4 月～現在に至る） ・シミュレーション教育・ICT ワーキング委員（2023 年 4 月～現在に至る） ・論集編集員（2023 年 4 月～現在に至る） 以上の学年担任、各委員会委員として、与えられた役割を遂行した。
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
●金津高校で福井県立大学入学説明会に参加し、看護福祉学部に関する説明を行った。